

令和4年5月23日

都道府県空手道連盟
会長 理事長 事務局長 殿
中体連専門部担当者 殿

公益財団法人全日本空手道連盟

専務理事 里見 和洋

全国中学校空手道連盟

会長 石川 周亨



現状把握と今後の中体連部活動について

中学校の空手道部活動の普及・振興をはかるため中体連加盟については、皆様にも県中体連への新規加盟をお願いしてまいりましたが、中学校教員の長時間労働の問題に伴い政府が進める「働き方改革」も相まって中学校に空手道部を創ることは現実問題として困難であり、加盟活動は思うように進んでいないのが現状です。

全空連は、これまでスポーツ庁や日本中体連に中学部活動の状況改善を要望してまいりましたが、このほどスポーツ庁は公立中学校の部活動の形態を学校単位でなく地域型に移行する考えを示しました。これは中学部活動の技術指導や運営、管理を地域のスポーツ団体に委ねることを意味します。また土日の部活動を外部指導者が指導することによって中学校顧問教員の長時間労働が解消され、外部指導者の空手道指導により中学生のスポーツ活動へのモチベーションを高めるとともにこれまでの中学校部活動にはあまり存在しない種目を加えることで多様なスポーツに触れる機会を増やすこともできるというものです。競技大会には地域合同チームとして参加できるようにすることや、将来的にはこの「地域総合型スポーツクラブ」(仮称)は中学生のみならず小学生から高齢者まで参加できるものにしてゆくと考えられます。

全空連としてはこの機をとらえ、地域の要請に応じていつでも空手道指導者を派遣できるよう各県連の体制を整えていただきたいと思います。公認スポーツ指導者資格を有し、公認段位(3段以上)の資格者を県内の群や市ごとに空手道指導者として派遣する準備をしていただき、指導者が不足の場合は県連から人材支援をお願いいたします。

中学校空手道の普及・振興と中体連問題の解決に皆様のお力添えをお願いいたします。